



となん

【学校教育目標】

- 豊かな心を持つ生徒
- 自ら学ぶ意欲を持つ生徒
- 健康でねばり強い生徒



2024年度 学校スローガン

未来は「下中(しも中)」から創られる
 ～自己実現を目指し一人一人が★主人公★～

発行者：校長
 さきやま ようしょう
 崎山 用彰

1学期の学級役員

リーダーを中心によりよい学級づくりを

4月11日(木)、学校朝会は「学級役員任命式」でした(辞令の押印を当日に行ってしまい、大慌てでした)。辞令は各学級の「級長」「副級長」「書記」「出席係」に交付いたしました。メンバーは次の通りです。

学 級	級 長	副 級 長	書 記	出 席 係
1年A組	石嶺 元隆	友利 陽葵	仲里 奏	羽地 愛美
1年B組	川平 鈴	松川 藍丸	下地 瑛太	饒平名清志郎
2年A組	友利 謙心	砂川 心希	砂川 愛虎	垣花 優凜
3年A組	宮國 悠稀也	喜多村 空良	羽地 春果	仲地 輝竜

【「学級役員任命式」でお話したこと】



(おはようございます。)昨日の生徒会入会式では、「ボーッと生きてんじゃないよ!」と(教頭先生を通じて)お伝えしたばかりですが、今日は私がボーッとしてみました。すみません。昨日のうちで「辞令」に校印を押すべきでした。

さて、「学級役員」で思い出すことは、私は那覇市出身で、1・2年生は石田中に在籍していました。1年は約40人学級の16クラス。学年の生徒は何人になるか計算してみてください。……約640名の同級生。全校生徒は1600名余り。先生方も100名以上は居たと思います。3年は新設校の松城中(1期卒)に分離したものの、それでも8クラスあったので、約320名の同級生の中、3年間は主に2学期の学級役員を務める機会がありました。当時は、立候補を表明する自薦ではなく他薦でした。(今の生徒は、積極的ですよ。)3年生では生徒会執行部に呼ばれ、図書専門委員会副委員長も務める機会もありました。

その体験の中で感じたことは、学級あるいは学校の代表としての責任の重さに押しつぶされそうになることもありました。同級生や先輩、後輩、あるいは先生方との対話を通して、何とかやり遂げることができました。充実感や達成感を味わうとともに、学びや育ちを実感していった気がします。まさに、下中グランドデザインに掲載している「なすことによって学ぶ」さらに、「人との絆が人間性を育む」ことができた体験だと言えます。このような体験は、生徒(子ども)だけでなく私たち先生方(大人)にも重なる部分があります。「こうすればよりよくなるのではないか」「まずは、対話をして、行動に移してみる」「なすことによって学ぶ」ことを日々積み重ねています。だから、私たちも、生徒のみなさんに負けないう、頑張りたい気持ちの高まりを、様々な場面から感じとることがあります。

(最初に話したように、)私もしばしば、「ボーッと生きてる」こともあります。そうしたメリハリも時には必要です。「間違いや失敗は当たり前起こる。」このことも想定して、自己実現を目指して共に切磋琢磨していきましょう。

自己紹介

- ①出身地：沖縄県那覇市
- ②所持免許状：中学校国語・高校国語・司書教諭・特別支援学校教諭2種
- ③勤務歴：宜野湾中(臨時教員)→上野中(本務教員)→伊良部中→西崎中→砂川中→久松中→福嶺中→平良中→宮古教育事務所(指導主事)→下地中(教頭)→宮古教育事務所(主任指導主事)→下地中(校長)
- ④座右の銘：己を信じて挑戦すれば、結果はどうであれ後悔がない
- ⑤趣味：読書・映画鑑賞・ドライブ・スポーツ観戦など

